

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
新居 琴			
火1			
添付ファイル			

科目の概要	特別活動の指導のあり方を考察していくため、社会的背景や教育政策との関連をふまえて、子どもたちが現実を切り開いていく力をつける特別活動の今日的課題を明らかにしていく。 さらに、特別活動における具体的指導のあり方について、実践記録を共同で分析したり、ワークショップで体験的に学ぶことを通して、特別活動の指導原理の理論的・実践的な認識を深める。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 特別活動とは・授業の進め方・成績評価など 課題：シラバスを読んでおくこと</p> <p>第2回 特別活動を考察する視点 子ども集団づくりの3つの視点 課題：テキストと授業のファイルを準備すること</p> <p>第3回 特別活動と評価 集団あそび（ワークショップ） 課題：班対抗の集団遊びをひとつ考えてくること</p> <p>第4回 現代の子どもをめぐる状況と実践上の課題 子どもをめぐる状況を討論し、実践上の課題を学ぶ 課題：現代の子どもたちの生きづらさはどんなことか付箋に書きだしてくる</p> <p>第5回 特別活動① 集団づくりの初期指導（テキスト第Ⅰ章・ 集団づくりの初期指導で大切なことを読みとる） 課題：テキスト 第Ⅰ章を読んで、付箋に書き出してくる</p> <p>第6回 特別活動② 特別活動の内容と実践（特別活動の具体的な内容と実践を学ぶ）</p> <p>第7回 特別活動③ 中学年の実践分析・学級の構造図・特別活動を通じた指導方法</p> <p>第8回 訓育と陶冶① 楽しく学ぶアイデア（テキスト 第Ⅱ章・訓育と陶冶について、実践を通して学ぶ） 課題：テキスト 第Ⅱ章を読んで、付箋に書き出してくる</p> <p>第9回 訓育と陶冶② 「困っている子」とであったとき （テキスト第Ⅲ章・さまざまな課題のある子とともに学ぶ実践方法を学ぶ） 課題：テキスト 第Ⅲ章を読んで、付箋に書き出してくる</p> <p>第10回 保護者と手をつなぐ テキスト第Ⅳ章・保護者と手をつなぐために必要な視点と方法を学ぶ 課題：テキスト 第Ⅳ章を読んでくる</p> <p>第11回 特別活動と学校行事① 「みんなで跳んだ」（映像） （中学の実践動画を鑑賞し、生徒が何を学んだこと・教師の指導法を学ぶ）</p> <p>第12回 特別活動と学校行事② 「かっちゃんの自立宣言」（1） （愛着障害・個別支援の課題の設定・初期指導について学ぶ） 課題：「愛着障害」について調べてくること（プリントにメモしてくる）</p> <p>第13回 特別活動と学校行事② 「かっちゃんの自立宣言」（2） （2年間の実践を分析し、全ての子を大切にする自治活動の方法を学ぶ） 課題：実践レポートを最後まで読んでくること</p> <p>第14回 私ならどう指導するか 学校で起こった小さな事件を読みとき、指導法を考え、発表する 課題：レポートの仕上げの準備</p> <p>第15回 特別活動のまとめ 特別活動のまとめとレポート仕上げ</p>
学習到達目標	<p>(1) 子どもたちの生きる現実を読み開き、教育実践の課題を理解し、説明することができる。</p> <p>(2) 特別活動の理論的な認識を深め、展開視点を説明できる。</p> <p>(3) 自治活動の指導を中心にして、特別活動の具体的な実践方法を述べることができる。</p> <p>(4) 特別活動に対する関心を広げ、問題意識を高め、実践を分析することができる。</p> <p>(5) 授業で取り上げた課題について、自分の意見を主体的に述べるすることができる。</p>
授業の方法	講義を中心に、グループワーク(毎回)、プレゼンテーション(各班1回)を行う。
成績評価の方法	授業の参加状況(30%)・・・自分の役割・意見表明・講義に集中すること。携帯を使用しないこと。 課題(10%)・・・課題(宿題) レポート(60%)・・・おもに授業内で行う。(公欠や欠席の場合は、指示された課題をす

	ること
教科書・テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・新居琴 「1年生の担任になったら」 高文研 2012 ISBN978-4-87498-487-1C0037 ・小学校学習指導要領 文部科学省 ・その他は資料を配布する
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に指示する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義時間内だけでなく、積極的に自学自習に取り組むこと。 ・授業内で出された課題は、次回の予習や復習のためのものなので、必ず行うこと。 ・授業をやむを得ず欠席した場合は、同級生からレジメを借りてコピーし、自修や課題を必ず行うこと。（課題はシラバスに記載。欠席しても課題はすること。欠席した場合、レポートは次回の授業で提出する事）
履修上の留意事項	<p>飲み物可・講義中の食事は禁止。携帯はOFFかマナーモード。（操作は指示のある時のみ） トイレなどで教室を離れるときは、班長に伝え、携帯を置いて出ること。 遅刻・早退・欠席・授業態度（私語・居眠り）などについての注意は、学生間で行うこと。</p>
オフィスアワー	授業終了前後に教室で
担当教員への連絡方法	araiguma_univ@yahoo. co. jp
その他	なし